

にしじ

がんサポートセンター OPEN! P2~5

初期臨床研修を終えて
～研修を終えた感想と今後の抱負～ P6～7
高知医療センター イベント情報 P8

4

APRIL2017 Vol.138



4月よりオープンするがんサポートセンター

高知医療センターの理念 — 医療の主人公は患者さん —

がんサポートセンター

いつも高知医療センター がんセンターに対しまして格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございます。

ついに待ちに待った新しいがんセンターが4月にオープンする運びとなりました。これも関係各方面の方々のご協力とご支援の賜と感謝しております。

新しいがんセンターの正式名称は、「がんサポートセンター」と言います。病院本体の西側に位置する4階建ての真新しい建物で、1階が「放射線治療部門」、2階が「核医学検査部門」、3階が「外来がん化学療法部門」、4階が「がん相談支援・緩和ケア部門」となっております。そして、放射線治療部門には世界最高水準の2台の高精度放射線治療装置を、核医学検査部門にはがんの診断や治療効果の評価に優れるPET-CTを導入いたしました。また、外来がん化学療法部門およびがん相談支援・緩和ケア部門もそれぞれ機能の拡充を図っております。

高知医療センター がんセンターは、このがんサポートセンターの機能を十二分に活用して、より高度で充実したがん診療を提供していく所存です。今後も高知医療センターとがんセンターに変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。

がんセンター長 西岡 明人

1F

放射線治療部門

がん治療三本柱の一つである放射線治療は、切らずに体の機能を温存しつつ、治療が行える体にやさしい治療法です。ここ十数年で治療機器ならびに治療技術が急速に進歩し、がん病巣へ正確に放射線を照射しつつ、周りの正常な組織にはあまり放射線が当たらないように工夫された「高精度放射線治療」が普及してきました。

今回、「がんサポートセンター」開設にあたり、最新の高精度放射線治療装置を2台導入し、スタッフも放射線治療専門医2名、診療放射線技師8名（放射線治療専門放射線技師4名・放射線治療品質管理士2名）、看護師3名と充実した体制となります。

また、PET-CTの導入により、PET画像を放射線治療計画に応用することもできるようになり、今までCT画像ではわかりにくかった病変も、PET画像を重ね合わせることで、鮮明に描出できます。このように画像診断機器との連携を行うことで、より正確な放射線治療計画を行うことができるようになります。

放射線治療装置は、現在、稼働に向けて着々と準備を進めています。

1台目の治療装置の稼働は7月中を予定しています。この装置はELEKTA社製『Elekta Synergy』で定位放射線治療(STI)や強度変調放射線治療(IMRT)に対応し、画像誘導放射線治療(IGRT)も可能です。これに加え、同治療室内にCT装置を装備し、CT装置で照射位置を確認しながら治療が行える、より高精度なシステム構成になっています。



2台目の治療装置の稼働は10月中を予定しています。装置はELEKTA社製『Versa HD』でELEKTA社の放射線治療装置の中で最上位機種となります。当院と同性能の装置は全国でも2台しか稼働していません。Elekta Synergyと同様にSTI・IMRT・IGRTに対応していることはもちろん、小さな病変を集中的に治療できるマイクロマルチリーフコリメータも装備され頭部のSTIに力を発揮します。また、放射線被ばくの無い最新の画像照合装置も標準装備され、これにより治療精度の向上が期待されます。



本格稼働までに、まだ時間を要しますが、患者さんに安心して高精度な放射線治療を受けていただけるよう準備を進めていきます。

2017年4月

OPEN!!



2F

核医学検査部門

がんサポートセンターが開設され、核医学検査科がこのセンターの2階へ移転となります。移転に伴い、従来の「SPECT/CT検査」に加え「PET/CT検査」が可能になりました。これでSPECT/CT装置2台・PET/CT装置1台という体制になります。

－SPECT/CT検査－

この検査は、ガンマ線という放射線を放出する少量のくすり(これを放射性医薬品といいます)を静脈から注射し、検査用のベッド上で静かに横になっている間に、身体の様子を画像(シンチグラム)にします。検査によっては、カプセルのくすりを飲んでいただくものもあります。放射性医薬品は外部から見えない病気の場所や臓器の状態を、放射線という信号を出して知らせてくれます。

この信号は臓器の形の異常があるなしにかかわらず、機能の異常を早期に知らせてくれます。多くの場合、注射されたくすりは目的の臓器や器官に集まりますが、早いものは数時間で、遅くても数日で信号(放射線)が弱くなりやがてなくなってしまいます。これは、くすりが身体から排泄されたり、放射線を放出する放射性同位元素そのものの能力が弱くなってしまうからです。

－PET/CT検査－

この検査で使われるくすりは陽電子(ポジトロン)と呼ばれる特殊な電子を放出します。

当院で使用する18F-FDGというくすりはFDG(フルオロデオキシグルコース)というブドウ糖によく似た物質に放射性のフッ素(18F)をつけたもので、体内の糖分の使い方を画像にすることができます。悪性腫瘍の多くはブドウ糖を大量に使うため、この画像から悪性腫瘍の存在や広がりに関する情報を得ることにより診断できます。したがって、ブドウ糖をあまり使用しない腫瘍は見えにくい等弱点もあります。

－副作用－

日本アイソトープ協会の専門委員会が2005年度に調査したところ、放射性医薬品の投与件数126万人に対して、19件の副作用報告がありました。副作用の程度は、非重篤が19件と重篤なものは報告されていません。症状としては、顔面紅潮・悪心・吐気・めまい・気分不良・皮膚発赤・発疹・そう痒感・脱力感・動悸・発汗などでした。検査用の放射性医薬品に含まれる放射性同位元素の量はわずかですので放射線影響の点から見ても心配はありません。

－新規導入されるPET/CT装置－



SIEMENS社『Biograph mCT Flow』

速度可変の連続移動スキャンを搭載し、これまでにない連続移動データ収集が可能で無駄なく効率的に均一な撮像が可能となっています。一回の全身撮像フローで最適な画像を得ることができて、患者さんの負担が大いに軽減されます。

－装置更新により導入されるSPECT/CT装置－



SIEMENS社『Symbia Intevo』

SPECTとCT情報を高精度に融合した高分解能画像が微細な病変を鮮明に描出します。また、従来より使用している装置の過去データを新システムへ移行が可能で、患者さんの継続的な検査・経過観察ができます。

外来ケアルーム

がんサポートセンターの3階に外来ケアルームが移転します。外来ケアルームは現在1階10番受付の奥にあり、腫瘍内科の診察室と21床のベッドで化学療法を行っています。今は建物の中心近くにあるため窓がなく、外の天気もわかりません。診察室と治療用ベッドが隣接しており、患者さんにご迷惑をおかけすることもありました。移転後の外来ケアルームでは、診察室のスペースと治療用ベッドがしっかり区切られました。また1つのベッドあたりのスペースも現在より広くなり、ベッド数も35に増床されます。窓際のベッドも確保することができました。時には窓の外を眺めたり、時にはテレビを見たりと落ち着いた環境で治療を受けていただけるよう設計されています。



化学療法といえば、入院して治療をしていた時代もありましたが、最近では薬剤の進歩によって外来で治療ができる機会が大きくなり、当院でも多くの患者さんが通院で化学療法を行っています。仕事をしながら、家事をしながら治療を行っていくことは大変ですが、新しいケアルームで、点滴をしている間はリラックスでき、安心して治療を受けていただけることを目指し、私たち職員も努力していきます。



外来ケアルームでの薬剤師の役割

がんサポートセンターでの薬剤師の業務を紹介します。外来ケアルームに指導担当の薬剤師を配置して、抗がん剤による治療が新たに始まる患者さんと、薬物治療の継続中に使用薬が変更になる患者さんには治療に先立ち薬剤説明を行います。使用する薬の効果や点滴の時間などの治療計画、予想される副作用の回避・軽減方法や患者さん自身が生活上で注意していただくこと、薬や食物との飲み合わせなどを説明し、患者さんにご家族に薬物治療に対する理解と納得をしていただき、副作用に対する不安感を解消したいと考えています。もちろん継続治療中の患者さんへの副作用聴取や、処方提案にも力を入れていきます。

また、外来ケアルーム内に薬剤準備室を設置し、専任の薬剤師が、使用する抗がん剤を調製します。正確な調製は当然のこととして、フロア看護師、薬剤師と連携して点滴の進行状況を見ながら、お待たせしない業務を心がけたいと思います。

最後に、患者さんからは見えにくいことですが、薬物治療の安全管理を図る観点で抗がん剤処方方のチェック(薬用量、休薬期間など)を確実に行うことは、最も重要であると考えています。薬物治療が安全・確実に継続できるように役割を果たしていきますので、薬のことでお聞きになりたいことがございましたら薬剤師に気軽にお声がけください。

緩和ケアセンター

がんサポートセンターの4階に、がん相談支援センターとともに緩和ケアセンターが開設されます。緩和ケアチームと緩和ケア内科の外来があり、入院中も外来通院時も継続して診療を行います。「医療の主人公は患者さん」が当院の理念です。緩和ケアセンターでは、患者さんだけでなく、ご家族も第2の患者さんと考えて対応します。十分に話し合いを行い、患者さん・ご家族が納得して治療や生活の場を選択できるよう、看護師、ソーシャルワーカーなど、様々な職種の方々と協力していきます。

緩和ケアセンターでは、がんにより生じる痛み、呼吸困難、治療の副作用などの身体的苦痛、不安や恐れなどの精神的苦痛、スピリチュアルな苦痛はもちろんのこと、経済的問題や生活環境の問題などの社会的苦痛、これら全て(全人的苦痛)を可及的速やかに緩和することを目標としています。

“緩和ケア”は、「私には、必要ない」という患者さんからの言葉もあります。確かに緩和ケアは、抗がん治療の継続が困難な患者さんに提供されると考えられていた時期もありました。しかし、“がん”と診断された時から、治療と同時に緩和ケアを提供する”とがん対策基本計画に明示されているように、現在ではがん診断時から必要なものです。がん診断時からの緩和ケア提供に向けて、がん診療に携わる全ての医師は緩和ケアの研修(PEACE)の受講が義務づけられており、当院はその教育・啓発活動という役割も担っています。

緩和ケアセンターでは、症状を取る治療やケアを提供するだけでなく、患者さんとご家族が大切な時間をどこで過ごすのかを一緒に考え、必要に応じて地域の病院や診療所、各施設と連携を取り、患者さんとご家族のQOL(生活の質)向上を第一にサポートしています。



原 一平 医師



緩和ケアチーム

がん相談支援センター



相談室

がん相談支援センターとがん患者サロン「池の会」が、がんサポートセンター 4階に移転することになりました。

がん相談支援センターは、患者さんやご家族のほか、地域の方々どなたでもご利用いただけます。相談時間は9時から16時まで、相談は無料です。看護師やソーシャルワーカーが質問や相談をお受けします。ご相談いただいた内容が外に漏れてしまうことはありません。がんについての情報、治療法、セカンドオピニオン、緩和ケア、医療費や生活費など、どのような事でも遠慮なく声をおかけ下さい。一緒に情報を探し、解決の糸口を考えたいと思います。

がん患者サロン「池の会」は、院内だけでなく地域のがん患者さんやご家族が、自由に話し交流のできる場として活動しています。今回新しくサロン専用の部屋が設けられ、月～金曜日(祝日、年末年始を除く)の9時から16時まで開設、インターネットのできるパソコンやテレビの設置、図書も充実し、ソファーや給湯室を整備しており、お茶を飲みながら自由に過ごす事ができます。診察や検査の待ち時間などに是非利用していただきたいと思ひます。

また毎月第1・第3木曜日の12時から14時まで、定例会(悩み解決の為の勉強会など企画検討中です)も開催しております。



患者サロン

初期臨床研修を終えて

初期臨床研修を修了される13名(医科12名、歯科1名)の先生方、厳しい研修の日々を立派に乗り越えられ、本当によく頑張ってお勉強をされたと思います。大変お疲れさまでした。そして「修了認定」おめでとうございます。さあ、これからは各自が選択された専門診療科の道での新たな専攻科研修のスタートです。先生方皆さんが“For the Patients!”の精神を決して忘れることなく、各々の道を極め、益々大きく発展されることを確信しています。高知医療センターで学んだ多くのことを活かしてこれからも是非頑張ってお活躍ください。

【臨床研修管理センター長 澤田 努】



池田 達也 いけだ たつや

院内外様々な所で研修させていただき、はじめは目まぐるしく変わる環境についていけませんでした。次第に成長を実感できるようになり、充実した2年間でした。4月からは引き続き当院の総合診療科にて勤務する予定です。1日も早く高知県の地域医療に貢献できるよう精進していきます。最後に、吉川病院長をはじめご指導いただきました先生方・職員の皆さま、そして快く研修に協力いただきました患者の皆さんに厚く感謝申し上げます。



宗円 幸子 そうえん さちこ

麻酔科、救急科から始まり最初は慣れるだけで精一杯でしたが、医療センターだけではなく外部の病院でも研修する機会があり、幅広く勉強することができました。2年間で少しずつ成長できたのではないかと思います。ご指導頂いた先生方、スタッフの皆さま本当にありがとうございました。



猪野 陸 いのりく

各科の先生方を始め、多くの医療スタッフの方々に温かく見守っていただながらご指導いただき大変充実した2年間を過ごすことができました。来年からは地域の病院で総合内科医として勤務することになります。高知医療センターでの経験に自分なりの知恵を掛け合わせながら自分自身でdecision makingできる医師に早くなれるように精進いたします。2年間本当にお世話になりました。



谷村 充保 たにむら みちほ

2年間、大変お世話になりました。右も左も分からなかった一昨年の4月から、あっという間に時間が過ぎました。優しく教育的な先生方と、優秀な看護師さんたちに指導していただき、医師として人間として成長できる場だったと思っています。研修先に高知医療センターを選択して、本当に良かったです。4月からは高知大学で産婦人科医として頑張っていきます。今後ともご指導のほどよろしくお願いたします。



河村 香澄 かわむら かすみ

2年間本当にお世話になりました。多くの方々に支えられとても充実した時間を過ごさせていただきました。来年からは県外で働くこととなりますが、いずれは生まれ故郷の高知に帰って少しでも恩返しできればと思っています。高知医療センターでの様々な経験や思い出を胸にこれからも一層精進して参ります。ありがとうございました。



東山 祐士 とうやま ゆうじ

2年間の初期臨床研修を終えて、常に全力投球とまではいきませんが、休み休みできる範囲で精一杯がんばったのではないかと思います。今後は医療センターで学んだ経験を僻地医療の場で活かしていきたいと思っています。お世話になった医療センターの先生方、スタッフの皆さま、本当にありがとうございました。



金子 敏明 かね としあき

当院の職員の皆さまや地域の方々に支えられて、2年間乗り切ることができました。ありがとうございました。来年度からは高知県庁で公衆衛生医師として医療政策の仕事に従事します。まだ微力ではありますが、高知県民の健康のために精一杯努力していく所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



中谷 剛 なかたに ごう

大変お世話になりました。1年目に入った時は右も左もわからなくて、たくさんご迷惑をおかけしましたが、皆さまのご指導、ご鞭撻のおかげで少しは成長できたのではないかと思います。来年度からは高知大学で整形外科医として働くこととなりますが、高知医療センターで学んだことを活かして、これからも高知県の医療に貢献できたらと思います。これからもよろしくお願いたします。

～研修を終えた感想と今後の抱負～



3月17日研修修了式が行われました。



服部 道成 はっとり みちなり

2年間、公私ともに大変充実した研修をさせていただきました。上級医の先生方や患者の皆さん、そしてスタッフの方々、また同期の先生方、そして家族に心から深い感謝を申し上げます。4月からは高知

大学に戻り、精神科教室で研鑽を積み、高知の医療に少しでも資するよう微力を尽くす所存です。これからもご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願い申し上げます。



福田 雄介 ふくだ ゆうすけ

2年間の研修期間を振り返ってみると、多くの先生方、コメディカルの方に支えられてきたと実感しております。はじめは慣れない業務に右往左往していましたが、様々な先生方に熱意をもって丁寧に教えていただき、なんとか

やってこれたと思います。本当にありがとうございました。この2年間で学んだことを生かして、これから一生懸命頑張っ参ります。重ね重ねになりますが、2年間大変お世話になりました。



前迫 大樹 まえさき だいき

多くの方々に支えていただき、初期臨床研修を終えることができました。私が研修病院に医療センターを希望したのは、症例が豊富で、ローテーションがフレキシブルだから

でしたが、その通りでした。更に、尊敬できる上級医の先生方に出会うことができ、来年度も医療センター麻酔科でお世話になることになりました。今後ともご指導のほど、よろしくお願いいたします。



藤下 恵悟 ふじした けいご

高知医療センターでの初期研修2年間を無事終了できました。期待した通り、先進治療から一般臨床まで幅広く学ぶことができました。4月からも引き続き、当院の血液内科でお世話になりますが、今後

は自分を育てていただいた先生方・コメディカル・そして何より患者さんにできるだけ恩返しをしたいと思っております。今後ともなにとぞよろしくお願い申し上げます。



岡崎 麻美 おかざき あさみ

医療センターでの4か月の研修では、学生のときにあまり触れることのできなかったことを体験できました。8か月の院外での研修では歯科医師として成長させていただき、今は歯科治療の奥深さと難しさを感じています。

今後は良質な診断と技術を提供できるよう、さらに研鑽を積んでまいります。ご指導いただきました先生方、日々助けていただいた歯科衛生士や技工士の方々に感謝申し上げます。

月	日	曜	高知医療センター イベント情報			
4月	10 11	月 火	高知医療センター新人看護師研修 他施設公開研修 (参加費無料・事前申込要) ※2日間のうちどちらか受講			
			内容	食事介助と摂食・嚥下障害患者に対する援助	場所	高知医療センター 1階 研修室2・3
			時間	8:30～12:00	対象	新人看護師(各4名)
			講師	高知医療センター 摂食・嚥下障害看護認定看護師		
	参加ご希望の方はお問い合わせください お問い合わせ: 高知医療センター 看護局 教育担当(野中、野田、藤本) TEL:088(837)3000(代)					
	13	木	第29回 こうち東部循環器アライアンス (参加費無料・事前申込不要)			
			内容	徐脈と恒久的ペースメーカー	場所	田野町ふれあいセンター(安芸郡田野町1456-42)
			時間	19:00～20:30	対象	医療関係者
			講師	座長:中芸クリニック 院長 濱宇津 良治 氏/講師:高知医療センター 循環器内科 科長 細木 信吾		
	お問い合わせ: 高知医療センター 事務局 経営企画課 川田 TEL:088(837)3000(代)					
	14	金	高知医療センター新人看護師研修 他施設公開研修 (参加費無料・事前申込要)			
			内容	スキンケア1	場所	高知医療センター 1階 研修室2・3
時間			9:00～11:00	対象	新人看護師(10名)	
講師			高知医療センター 皮膚・排泄ケア認定看護師			
参加ご希望の方はお問い合わせください お問い合わせ: 高知医療センター 看護局 教育担当(野中、野田、藤本) TEL:088(837)3000(代)						
14	金	高知医療センター新人看護師研修 他施設公開研修 (参加費無料・事前申込要)				
		内容	弾性ストッキング	場所	高知医療センター 1階 研修室2・3	
		時間	11:00～12:00	対象	新人看護師(10名)	
		講師	高知医療センター 皮膚・排泄ケア認定看護師			
参加ご希望の方はお問い合わせください お問い合わせ: 高知医療センター 看護局 教育担当(野中、野田、藤本) TEL:088(837)3000(代)						
14	金	高知医療センター新人看護師研修 他施設公開研修 (参加費無料・事前申込要) 定員に達しました				
		内容	口腔ケアの基礎	場所	高知医療センター 1階 研修室2・3	
		時間	13:00～15:00	対象	新人看護師(4名)	
		講師	高知医療センター 摂食・嚥下障害看護認定看護師			
参加ご希望の方はお問い合わせください お問い合わせ: 高知医療センター 看護局 教育担当(野中、野田、藤本) TEL:088(837)3000(代)						
5月	12	金	高知医療センター新人看護師研修 他施設公開研修 (参加費無料・事前申込要) ※午前、午後どちらか受講			
			内容	救急看護1	場所	高知医療センター 2階 スキルズラボ室
			時間	8:30～12:30/13:30～17:30	対象	新人看護師(各4名)
			講師	高知医療センター 院内インストラクター		
参加ご希望の方はお問い合わせください お問い合わせ: 高知医療センター 看護局 教育担当(野中、野田、藤本) TEL:088(837)3000(代)						

※時間等、変更になる場合もございますのでご了承ください。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

編集後記

こんにちは。まだまだ朝晩は寒い日もあり布団から出るのが少しためられる日々が続きますね。先日、高知県のいの町を訪問したのですが、山のところどころにさくら(山さくら?)がちらほら咲いていました。その話を同僚にしたところ、須崎市の「雪割り桜」が有名だという話になりました。自分は昨年の10月に高知に来たために知らなかったので調べたところ、2月中旬から3月中旬に、濃いピンク・桃色の美しい花をつける椿寒桜のことだそうで、蟠蛇森(ぱんだがもり)の中腹にある桑田山が有名だと聞きました。機会があったら見に行きたいものですね。(広報委員 西田)



平成29年4月1日発行
にじ4月号(第138号)
毎月発行
編集者: 広報委員会
発行者: 吉川 清志
印刷: 株式会社 高陽堂印刷

発行元:
高知県・高知市病院企業団立
高知医療センター
〒781-8555 高知県高知市池2125-1
TEL:088(837)3000(代)

広報誌「にじ」に関するご要望・ご意見をお寄せください。renkei@khsc.or.jp